

関東部会この一年

関東部会のこの一年間の活動は、次のとおりです。

1 月例研究会 (表参照)

全史料協の全国大会の開催月を除いて、例年どおり11回の研究会を開催しました。第109から119回迄です。開催地も新潟県、群馬県、茨城県、茨城県牛久市等に及び、東京で開催した回数を上回りました。このことは、できるだけ関東部会員の様々な地域で開催したいという関東部会の趣旨にも合致するものでした。今後とも会員皆様のご協力をお願い致し

ます。

2 文書館学研究会 (外書購読会)

テキストは、クランチ著「From Memory to Written Records」です。

この一年間では、6回開催しました。今年の1月から諸般の事情から休会に入っています。

3 会報の発行

会報「アーキビスト」は、第32号から第34号迄発行されました。月例研究会の報告内容を中心に「海外文書館通信」や時々話題を掲載しています。若干ニュース性には欠けませんが会員皆様と共に情報を共有するという面から会報の役割を強く感じているところです。

4 文献目録編集委員会の活動

この一年間も昨年同様、文献調査に明け暮れました。少数精鋭で調査を行っている次第ですが、ようやく目標が見えてきました。現在、今年秋に開催される全史料協の全国大会前迄に刊行すべく全力を挙げて努力しているところです。

5 事務局の変更

今年の4月から関東部会の事務局が東京都公文書館から藤沢市文書館に変わりました。関東部会が設置されたのは、1984(昭和59)年でした。その年5月に東京八丈島で設立総会が開催され、事務局が東京都公文書館になりました。活動の主軸を毎月一回の研究会に置き、また、その研究会の報告をメインに会員にホットな情報を提供する会報「アーキビスト」を発行する。さらに、文書館学を海外文献から学ぶ外書購読会を開催する。以上を三本の柱として、活動してきました。

月例研究会は、全史料協の大会を除いてほとんど休みなく開催しました。どのようなテーマでも、どのような曜日でも必ず参加して頂いた会員の皆様の協力と快諾して頂いた講師の皆様のお陰だと感謝しております。

現在は、藤沢市文書館の若いスタッフが事務局を担当しています。すでにお気づきかもしれませんが、関東部会の専用封筒ができました。これも新しい方向に向かって一步を踏

関東部会月例研究会

回数	年月日	曜日	氏名	所属	テーマ	会場
0109	1994.05.28	土	(見学会)	神奈川県立公文書館	神奈川県立公文書館見学	神奈川県立公文書館
0110	1994.06.24	金	宮崎 俊弥	群馬県立文書館	近代文書と目録記述方法	群馬県立文書館
0111	1994.07.25	月	日露野 好章	東海大学50年史編集委員会	大学史資料のゆくえ／東海大学の場合	国立史料館
0112	1994.08.27	土	関根 敬一郎	埼玉県立文書館(元)	文書館づくりの課題をめぐって／公文書館法の活用のために	ゆうぼうと
0113	1994.09.30	金	山本 幸俊	新潟県立文書館	新潟県立文書館における史料所在調査／史料の現地保存の試み	新潟県立文書館
0114	1994.11.22	火	高橋 実	茨城県立歴史館	全史料協主催「敦煌遺書档案国際シンポジウム」参加報告	牛久保健センター
0114	1994.11.22	火	木村 由美子	牛久古文書の会	全史料協主催「敦煌遺書档案国際シンポジウム」参加報告	牛久保健センター
0115	1994.12.17	土	広瀬 睦	国立史料館	記録史料の保存を考える会」の歩みと課題	草加市立中央公民館
0115	1994.12.17	土	神谷 修治	T・S・スピロン	「記録史料の保存を考える会」の歩みと課題	草加市立中央公民館
0115	1994.12.17	土	新井 浩文	埼玉県立文書館	「記録史料の保存を考える会」の歩みと課題	草加市立中央公民館
0115	1994.12.17	土	吉岡 栄美子	東京大学史料編纂所	「記録史料の保存を考える会」の歩みと課題	草加市立中央公民館
0115	1994.12.17	土	伊藤 然	草加市史編纂室	「記録史料の保存を考える会」の歩みと課題	草加市立中央公民館
0116	1995.01.14	土	橋本 直子	葛飾区郷土と天文の博物館	博物館における史料の保存と活用について	葛飾区郷土と天文の博物館
0117	1995.02.17	土	北原 進	江戸東京博物館	大学研究室と収集文書の移管	江戸東京博物館
0118	1995.03.04	土	西木 浩一	東京都公文書館	部落問題研究と歴史資料の公開・刊行について	藤沢市文書館
0119	1995.04.15	土	J・P・フロー	ICA会長	文書館の社会的役割	神奈川県立公文書館

み出した証左だと思います。どうぞ、今後とも会員の皆様の一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

東京都公文書館 水口政次、水野保